

関西大学独逸文学会会則

(平成3年4月1日現在)

- 第1条 本学会は関西大学独逸文学会と称する
- 第2条 本学会は独逸文学・独逸語学の研究および普及をはかることを目的とする
- 第3条 本学会は前条の目的を達成するために次の事業を行なう
1. 毎年1回総会を開く
 2. 毎年2回研究発表会を開く
 3. 毎年機関誌を発行する
 4. その他研究会、講演会などを行う
- 第4条 本学会は次の会員で組織する
1. 本学ドイツ文学科の教授・助教授・専任講師及び助手
 2. 本学の教授・助教授・講師および助手の有志者
 3. 本学ドイツ文学科学生・院生
 4. 本学学生・院生ならびに卒業生の有志者
 5. その他本学会の趣旨に賛同する者
- 第5条 本学会は会長1名・委員および幹事それぞれ若干名を置く
1. 委員は本学ドイツ文学科の教授・助教授および専任講師とする
 2. 会長は委員会が会員中から推薦する
任期は2年とし重任を妨げない
 3. 幹事は本学ドイツ文学科の助手・および互選された学生・院生・卒業生の若干名に委員が委嘱する
任期は1年とし留任を妨げない
- 第6条 機関誌の編集委員は本学会の委員の互選による若干名とする
- 第7条 会計年度は4月1日より翌年3月31日までとする
- 第8条 会費は年額3,000円とする
- 第9条 本学会の事務所は本学文学部ドイツ文学科研究室に置く
- 第10条 会則の変更は委員会を経て総会の審議によって行なう

〔備考〕会費年額3,000円（第8条）は昭和60年度よりとし、59年度以前入学の学部学生の前納会費は据置とする

執筆者紹介（掲載順）

- | | |
|-----------------------|--|
| 藤井啓行 | 関西大学教授，関西大学独逸文学会会長 |
| 袁志英
(Zhiying Yuan) | （中国）复旦大学教授 |
| 山下肇 | 東京大学名誉教授，平成3年3月31日関西大学教授定年退職，大学生協・東京事業連合理事長，関西大学大学院非常勤講師 |
| 武市修 | 関西大学教授 |
| 八亀徳也 | 関西大学教授 |
| 芳原政弘 | 関西大学教授 |
| 藤沢ゆうり | 関西大学大学院博士課程後期在学中 |
| 菅野瑞治也 | 京都外国語大学専任講師 |
| 奥田誠司 | 関西大学大学院博士課程後期在学中 |
| 須摩肇 | 関西大学大学院博士課程後期在学中 |
| 杉谷眞佐子 | 関西大学教授 |
| 佐藤裕子 | （ドイツ）デュッセルドルフ大学外国人教師 |

編 集 後 記

- 山下 肇教授は昭和56年4月本学に赴任されてから10年間に亘り学生・院生の指導はもとより、ドイツ文学科の充実に、また会長として本学会の発展に尽力され、多大の貢献をなされました。先生は昨年めでたく古稀を迎えられましたが、これを機に先生のご功績に感謝し、本号をその記念号として捧呈することに致しました。益々のご活躍とご健勝を祈念してやみません。
- 先生は昭和63年秋に3ヶ月間在外研究員として上海に滞在され、本学と复旦大学との交流関係を更に深められましたが、その折親交を結ばれた袁 志英先生より本号に有難い一文が寄せられております。袁先生につきましては、IVG東京大会にご出席後 Voßkamp 教授とともに来学され、講演されたのを思い起こされる方も少なくないことでしょう。
- 本号には山下先生ご自身によるものをはじめ、10編の労作を載せることができました。玉稿を寄せられた方々に感謝致します。私どもがとりわけ喜ばしく思いますのは、先生のご講筵に列した若い方々から5編もの論文が寄せられたことです。
- 残念ながら今回も締切り期限等の関係で寄稿を辞退していただいたケースがありました。ご諒解を願いますとともに次号へのご投稿を期待致します。
- 本記念号の刊行にあたりましては関西大学出版部のご尽力により法人から補助金 が得られることになっております。厚く御礼申し上げる次第です。
- 本号の編集を担当致しましたのは、杉谷眞佐子、八亀徳也、福岡四郎、諸沢 巖の4名です。

独 逸 文 学 35

平成3年5月2日 発行

編 集 兼
発 行 者

関 西 大 学 独 逸 文 学 会
吹 田 市 山 手 町 3-3-35
関 大 独 文 研 究 室 内
電 話・大 阪 (06) 388-1121
内 線 5015

印 刷 所 内 外 印 刷 株 式 会 社

(非売品)

『独逸文学』35号 正 誤 表

ページ	行	誤	正
42	1	...stört Eine...	...stört. Eine...
213	16	Masako Sugitani	Masako SUGITANI
235	19	ヘルマン・ハッセ	ヘルマン・ヘッセ

DIE DEUTSCHE LITERATUR

35

1 9 9 1

Gesellschaft für Germanistik
Kansai Universität
Osaka, Japan